

JR東日本労働組合 SENDAI 情報

JR 東日本労働組合
仙台地方本部

2021年冬期対策について交渉

11月16日、仙台地本は団体交渉に於いて、2021冬期対策に関する交渉を開催しました。

1. 山寺駅のITVカメラ及びモニターの除雪をホーム除雪時に実施されたい。

『会社』 ITVカメラに雪、氷が付着し見えない状況が発生した場合、車掌から指令に要請を行い、設備社員が対応している。ケースバイケースで運輸区が対応することもある。

山寺駅のホーム除雪はテクノサービス社員ではなく、地元のテンポラリースタッフがやっている。

テンポラリースタッフの方は高齢の方が多く、教育等も行えず、機器類の徐雪を行わせることはできない。その為、現行の対応となる。

『組合』 確認だが、ITVが見えない時の対応はどのように行われているか。

『会社』 車掌から運転士にパイロットランプが点灯しても、戸閉ブザーの鳴動後でないと発車させない旨を連絡する。車掌はホームに出て安全が確認できる所まで行き、その後ドアを閉める。側灯滅灯を確認し、ブザーを鳴らしてから発車となる。そこで遅れが発生する。

『組合』 ITVカメラに融雪装置は付いていないのか。

『会社』 設置されているが、雪や風の状況により、融雪が追いつかない場合がある。

2. 山形県新庄最上地区大雪で運転が困難な場合、村山で折り返し運転を行い、乗務員に代行バスは運転しないと連絡しているにもかかわらず便宜上バスの手配を行ったことがあった。異常時には漏れなく正確な情報を通知されたい。

『会社』 代行バスはあらかじめ運休が決まっている区間に対し利用するすべてのお客様に対し行う。救済は、特定の駅や、列車内のお客様さまに対し行う。その為、代行バスは行わないが、救済は行ったということであり理解の相違があったものと思われる。

様々なツールを利用し、情報の共有に努めていく。

3. 初列車への運転台カメラの設置とあるが、発車前の点検項目に入るのかが明らかにされたい。

『会社』 点検項目には入らない。スイッチの入り切り操作は行って頂く。

『組合』 運転台カメラの不具合で列車が遅れることはあるのか。

『会社』 遅れることはない。不具合が発生した際は、運転士からの状況報告を参考にする。

4. 雪害対策マニュアルの見直しで「アクセス困難箇所に関する対応を追加します」とあるが、具体的な困難箇所と対応を明らかにされたい。

『会社』 車で現地へ行けない箇所を指定している。設備関係職場では以前から共有されていた。今冬期から雪害対策マニュアルに盛り込んだ。

奥羽本線 庭坂・米沢間、仙山線 作並・山寺間について、列車巡回強化や除雪機械添乗、拠点配置を行う。

5. 山形運輸区指定通路の段差を解消されたい。

『会社』 段差にはスロープを架け、なるべく段差を解消している。工事作業はしばらく続くため、当分注意を払って頂きたい。

『組合』 早朝の積雪や、夜間帯、不慣れな社員はケガの恐れが無いよう、注意喚起板や策を設置するなどの対策も必要である。検討して頂きたい。

6. 米坂線に於いて、新潟支社管内大雪により運転見合わせの際、米沢～今泉折り返し運転を行っていたが、米沢～羽前椿とされたい。

『会社』 羽前椿駅の除雪については新潟支社が行うものであり、仙台支社で行うためには訓練が必要になる。その為に今泉駅折返しとなる。

『組合』 除雪の必要性がない場合は可能なのか。

『会社』 新潟支社との協議で可能となる。ただ、運用の関係で全ての列車が対象とはならない。

『組合』 朝夕の時間帯で、通学生を対象となる列車であればいくらでもお客さまに対しご不便を低減できる。定期券の長期運休による払い戻しによるJRの損失も減らすことができる。また、昨冬は通学生の保護者の方から、多くの苦情を頂いた。柔軟な対応をお願いしたい。

以上